

インテル (INTC)

【セクター】 半導体

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

米国を代表する半導体メーカー。セグメント別では、インテル・プロダクツ（CPUなどの設計・開発・マーケティングなど：クライアント・コンピューティング・グループ、データセンター&AI、ネットワーク&エッジ）、インテル・ファウンドリ、その他（先進運転支援システムADASを手掛けるモビルアイ等）で事業を展開しています。地域別売上高比率では米国外が75%以上を占めます。カリフォルニア州サンタクララに本社を置き、従業員数は108,900人（24年12月末時点）です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、売上高、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
23.12期	54,228	4,423	1.05	0.74	25.0	1.6	57.4
24.12期	53,101	-566	-0.13	0.38	22.9	-18.3	53.5
25.12期（予）	50,530	1,352	0.32	0.00	24.7	0.4	-

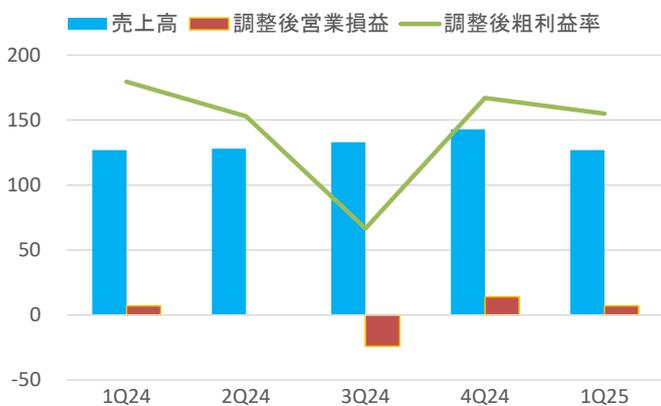
※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】

売上高、調整後営業損益（億ドル、左） 調整後粗利益率（%、右）

セグメント別売上高、営業損益（百万ドル）



単位:百万ドル	売上高			営業損益		
	1Q24	1Q25	増減率	1Q24	1Q25	増減率
プロダクツ	12,101	11,755	▲ 3%	3,239	2,936	▲ 9%
CCG	8,273	7,629	▲ 8%	2,822	2,361	▲ 16%
DCAG	3,828	4,126	8%	417	575	38%
ファウンドリ	4,356	4,667	7%	▲ 2,441	▲ 2,320	赤継
その他	643	943	47%	▲ 170	103	黒転
本社・消去	▲ 4,376	▲ 4,698	-	▲ 1,697	▲ 1,020	-
合計	12,724	12,667	▲ 0%	▲ 1,069	▲ 301	赤継

（出所）会社資料よりSBI証券作成

（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

25年1-3月期の売上高は前年同期比ほぼ横ばいの127億ドル（市場予想123億ドル）です。セグメント別（内部控除前）ではインテル・プロダクツが同3%減の118億ドル（同112億ドル）、インテル・ファウンドリは同7%増の47億ドル（同43億ドル）、その他は同47%増の9.4億ドル（同9.8億ドル）です。調整後粗利益率は39.2%（同36.1%）と前年同期の45.1%から5.9ポイント低下しました。調整後1株利益は同28%減の0.13ドル（同0.01ドル）です。PCプロセッサとファウンドリ事業は引き続き苦戦中ですが、一方、データセンター向けは関税前の駆け込み需要により、押し上げられた模様です。25年3月にリップブー・タン氏を新CEOとして迎え、経営立て直しを図っています。

【見通し・注目点】

会社側の25年4-6月期業績見通しは、売上高が112億~124億ドル（市場予想128.8億ドル）、調整後1株利益が損益トントン（同0.072ドル）、調整後粗利益率が36.5%（同37%）。会社側は現在のマクロ経済環境による不確実性が反映されていると説明しました。また、コスト抑制や企業風土の刷新に向け、大規模な人員削減の実施と9月1日から週4日のオフィス勤務を義務づける方針を打ち出しました。25年と26年の営業費用はそれぞれ約170億ドル、160億ドルに抑制される見通しです。今後、ファウンドリ事業や人工知能（AI）分野を巡る経営方針が注目されると思われます。

**本レポートに関するご注意事項**

- ・ご紹介する個別銘柄及び各情報は、投資の勧誘や個別銘柄の売買を推奨するものではありません。
- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

**手数料及びリスク情報等**

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

株式会社SBI証券 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号、商品先物取引業者  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会